



報道関係者各位

2012年11月27日
株式会社ネットマークス

**ネットマークス、「Riverbed Stingray Traffic Manager」の提供を開始
～TOKAI コミュニケーションズ「BroadCenter クラウドプラットフォームサービス」の
「専用ロードバランササービス」にも採用～**

ネットワーク・ソリューションプロバイダの株式会社ネットマークス（東京都江東区豊洲、代表取締役社長 佐藤 宏、以下 ネットマークス）は、Riverbed Technology, Inc.（米国サンフランシスコ、CEO : Jerry Kennelly）のソフトウェアL7ロードバランサー「Stingray Traffic Manager」の提供を本日より開始致します。

「Stingray Traffic Manager」は、サーバ上のコンテンツに対し大量にアクセスがあった場合の負荷分散を仮想基盤上で行うことが可能なソフトウェアであり、特にデータセンターなどの大規模なシステムで利用する場合に、大きな効果を発揮します。すでに株式会社TOKAI コミュニケーションズ（静岡県静岡市、代表取締役社長：嶋田勝彦）のクラウドサービス「BroadCenter クラウドプラットフォームサービス」における「専用ロードバランササービス」への採用が決定しております。ネットマークスでは、主にデータセンター事業者向けに本製品を拡販し、初年度100ライセンスの販売を見込んでおります。



クラウド基盤が充実し、企業システムのクラウド化が進む中、PCのみならずスマートデバイスの普及と相まって、ECサイトやWebコンテンツの公開サーバへのトラフィックはこれまで以上に増加傾向です。このような状況において特に大規模データセンター事業者にとっては、システムへ集中するトラフィックを効率良く、タイムリーに負荷分散する必要性が高まっています。

ネットマークスはこれまで、負荷分散システムを多くのお客様に提供して参りましたが、その導入ノウハウを活かし新たな付加価値をお客様へ提供することを目的として、仮想環境での動作が可能な本製品の販売を開始致します。

「Stingray Traffic Manager」は、従来からあるハードウェア製品と比べて納期が短く、導入までの日数を大幅に短縮可能です。また、VMware、Citrix XenServer、Oracle VM 上では仮想アプライアンスとしての提供も可能であり、通常ソフトウェアと比べセットアップの手間が低減でき、またハードウェアに依存することなく導入が可能です。

ネットマークスでは、利用ライセンス数に応じた月額課金体系やライセンスの事前払い出しが可能なメニューを準備しております。これらを活用することにより、データセンター事業者は需要に合わせたシステムの構築と、ECサイトやWebコンテンツ提供事業者などへの迅速なサービス提供が可能です。

<主な特長>

- ・ SSL アクセラレータを標準搭載

SSL 通信で送受信されるデータをロードバランサーで暗号化・復号化する機能を標準搭載。

- ・ L7 レベルの負荷分散処理

HTTP や FTP などアプリケーション情報をベースに振り分ける L7 負荷分散が可能。

- ・ さまざまなプラットフォームに対応

Linux または Solaris を搭載した物理・仮想環境に対応。

また VMware、Oracle VM および Citrix XenServer 上では、仮想アプライアンスでの提供が可能。

以上

* 記載されている会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です

* 上記価格、出荷(サービス)開始時期については予告なく変更する場合があります

<本ニュースリリースに関するお問い合わせは下記までお願い致します>

株式会社ネットマークス マーケティング部 広報室 神戸・齊藤

Tel: 03-5144-1110 Mail: press@netmarks.co.jp

■株式会社ネットマークスについて

ネットマークスは、ネットワークシステムの構築をベースに、ユニファイドコミュニケーションやデータセンターソリューションなど最先端の技術に基づき、トータルにお客様をサポートしております。

ICT 基盤の構築や最適なソリューションのご提供、24 時間 365 日対応のアウトソーシングサービスなど、進化する企業コミュニケーションに求められる様々な課題にお応えしてまいります。

ネットマークスに関する詳しい情報は以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.netmarks.co.jp/>